

住宅(災害公営住宅)について

災害公営住宅整備の現状と今後

事業期間

平成 2 3 年度から平成 2 5 年度にかけて着手予定

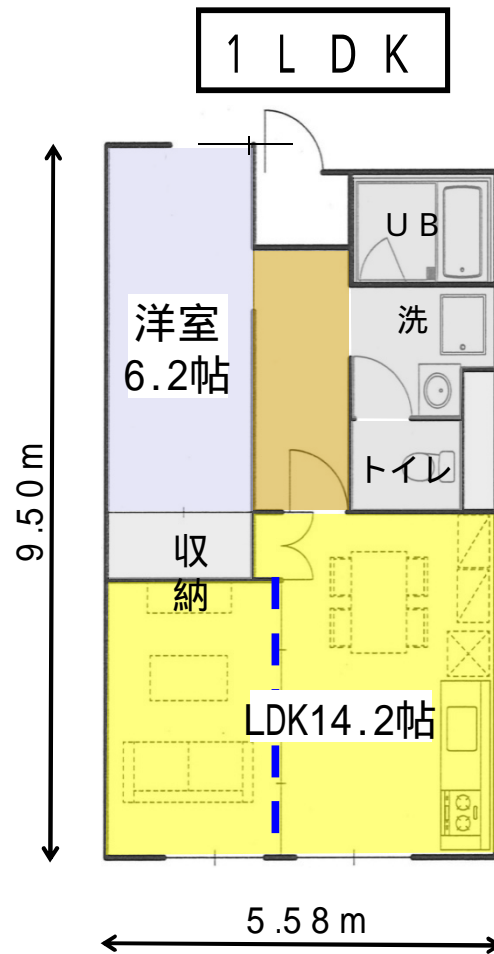
規模・間取り

- ・ 1LDK (約 50m^2) ・ 2LDK (約 60m^2) の組合わせ
- ・ 間取りごとの割合は、1LDKを 3 割、2LDKを 7 割
(仮設住宅入居者割合より割合を算定した)
- ・ 間取りには可動間仕切りを採用し、1LDKは2DKとして、2LDKは3DKとして使用できる計画とする

【参考】県施工・県管理の住宅は、1DK (約 40m^2) 、
2DK (約 50m^2) 、3DK (約 60m^2) の 3 タイプで整備
予定

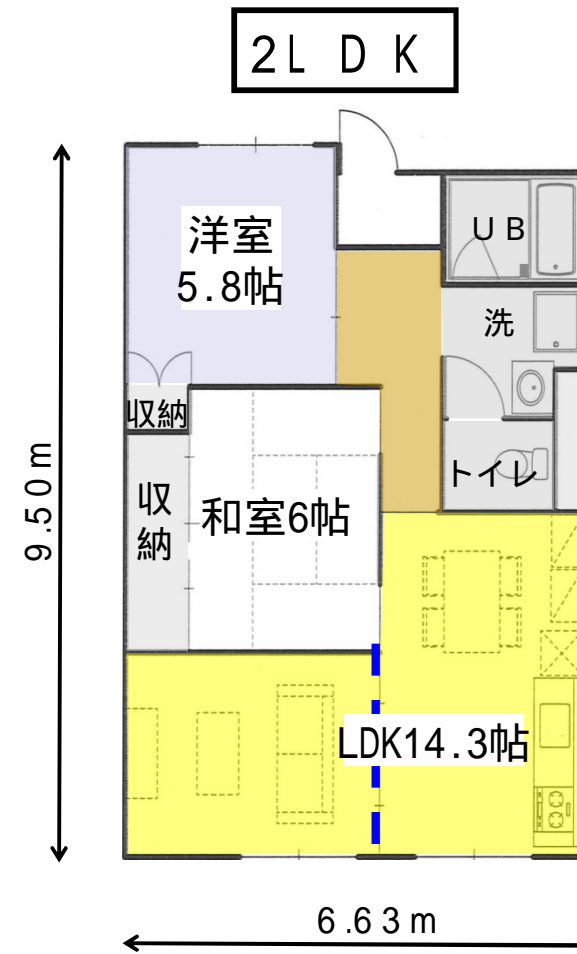
災害公営住宅整備の現状と今後

釜石市災害公営住宅標準的間取り(参考)
市営住宅(市管理)の場合



延べ床面積: 53.0 m^2

青破線部は可動間仕切りで仕切ることも可能



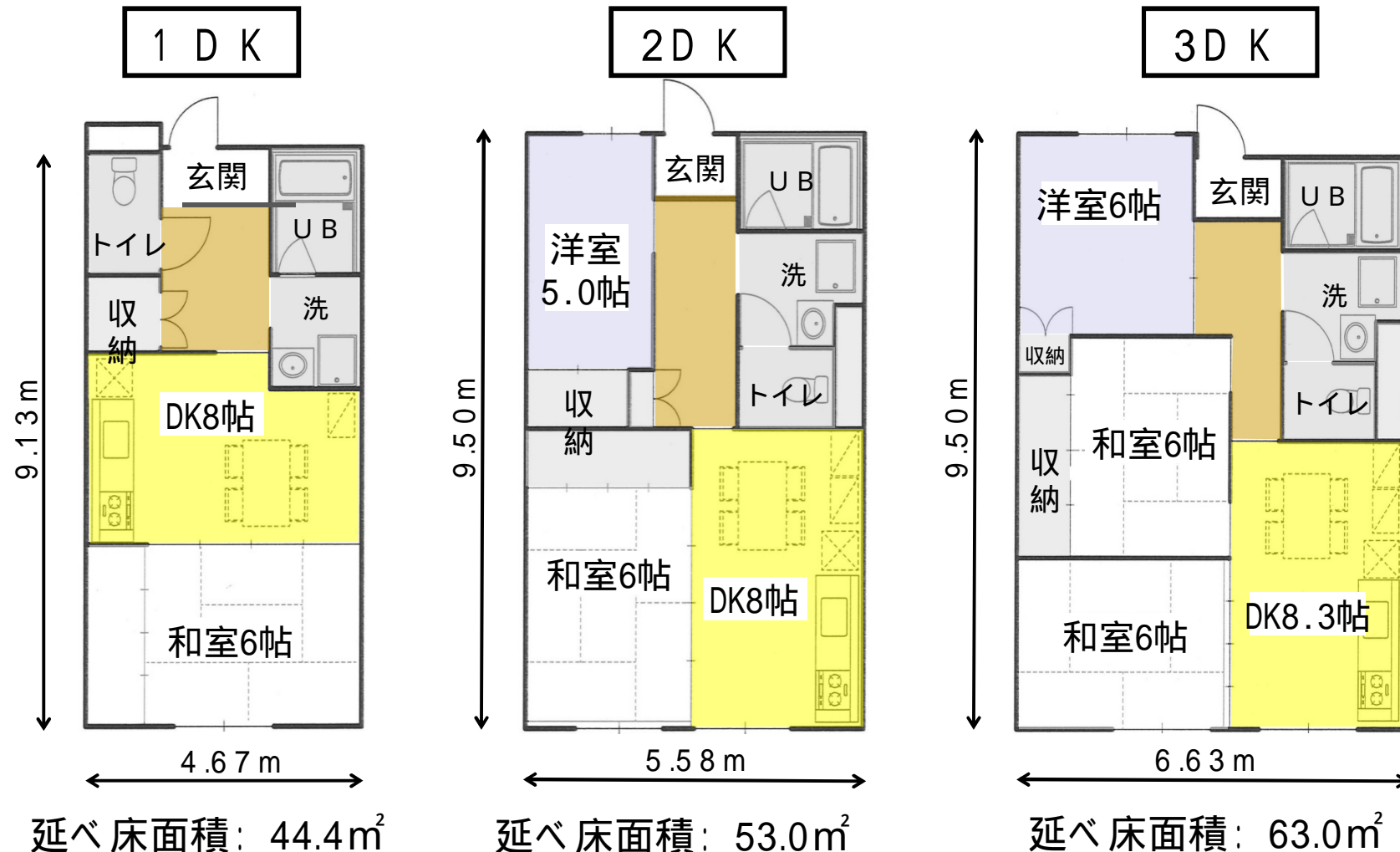
延べ床面積: 63.0 m^2

LDK:リビングダイニングキッチン

災害公営住宅整備の現状と今後

釜石市災害公営住宅標準的間取り(参考)

県施工・県管理の場合



注意: これらの間取りは標準的なものであり、敷地の条件等により配置が変わることがあります。

災害公営住宅整備の現状と今後

整備戸数

市内 2 1 地区に約 1 , 0 0 0 戸の整備を予定
(別紙のとおり)

建物の構造

- ・ 県施工の住宅は、基本的に鉄筋コンクリート造
- ・ 市施工住宅では、漁業集落部における住宅について、木造での建設も検討し、将来の払い下げも考慮

家賃について

- ・ 現在検討中であるが、家賃を低廉に抑え、負担を軽減できるように設定する予定

災害公営住宅整備の現状と今後

釜石市災害公営住宅標準的間取り(参考)

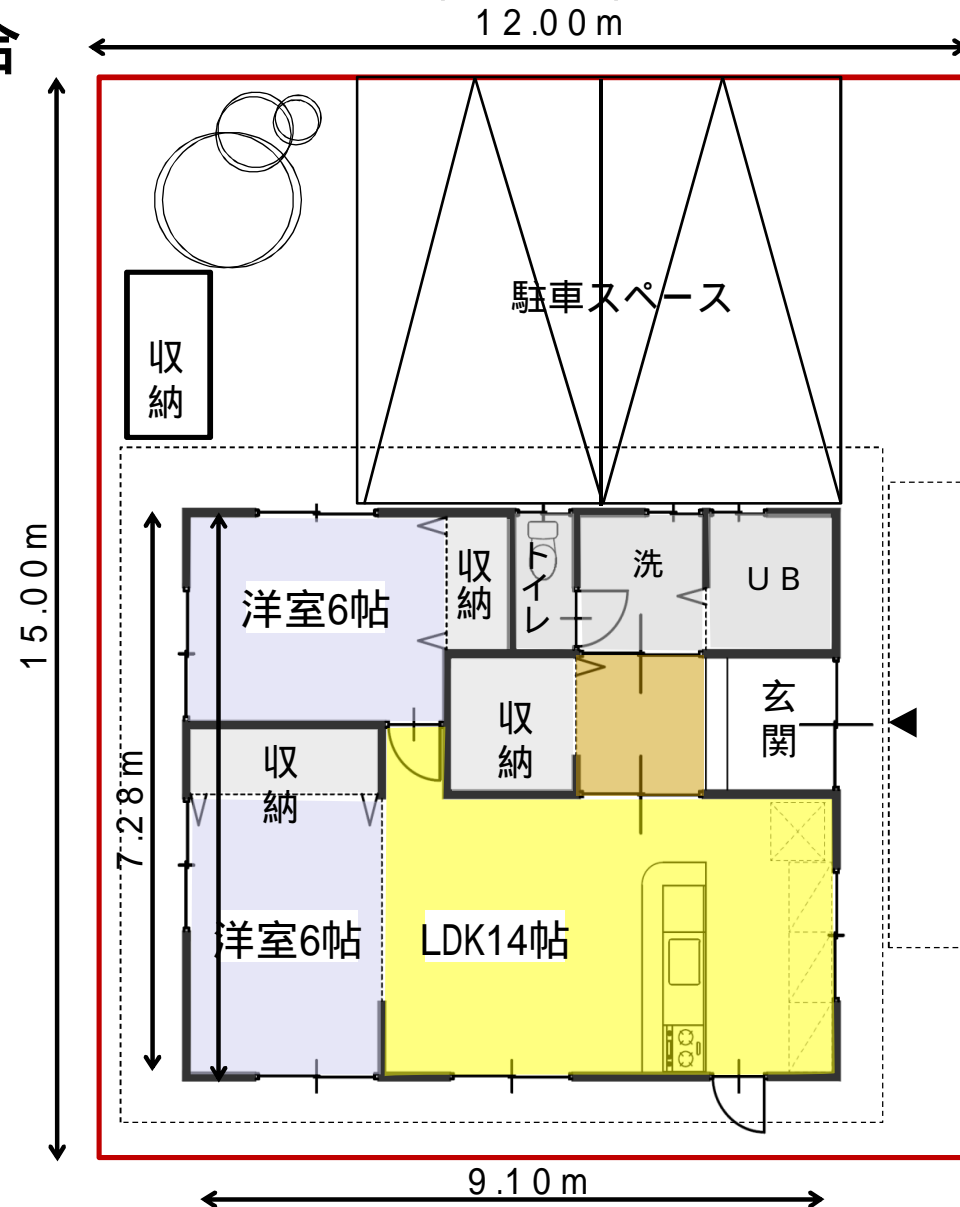
市施工 戸建ての場合

延べ床面積: 66.0m²

敷地面積 : 180.0m²

注意

: 間取りは標準的なものであり、
敷地の条件等により配置が
変わることがあります。



災害公営住宅整備の現状と今後

現在の状況・進捗

- ・ 県施工で、野田地区（野田団地）に40戸、平田地区（旧釜石商業跡）に126戸、計166戸を建設することで現在設計を実施している
- ・ 上記2ヶ所は夏ごろから着工し、平成25年の前期に完成・入居を目標としている
- ・ 市施工分として、地区合意を得て建設地が確定した花露辺において、平成25年内の完成・入居を目指し、設計に着手
- ・ 住宅建設予定の方も含め、各再建パターンごとの収支シミュレーションを公表済

今後の取り組み

- ・ 今年度、来年度施工個所の候補地の選定を行っている

災害公営住宅整備の現状と今後

釜石市災害公営住宅整備計画案(別紙)

平成23年度		平成24年度		平成25年度	
野田地区	40	唐丹地区(小白浜・片岸)	40	松原・嬉石地区	90
平田地区	126	鵜住居片岸地区	36	両石地区	56
2地区 計	166	鵜住居地区(日向)	80	鵜住居地区(中心部)	80
<p>基盤整備の進捗により、着手時期が前後する場合がございますことをご了承ください。</p> <p>計画については現時点のものであり、今後の懇談会や国・県との協議を踏まえ修正を加え、その都度皆様に情報提供してまいります。</p>		東部地区(天神)	40	東部地区(中心部)	80
		箱崎地区	40	唐丹地区(荒川)	30
		上中島地区	210	室浜地区	20
		尾崎白浜・佐須地区	10	根浜地区	15
		箱崎白浜地区	10	桑ノ浜地区	10
		花露辺地区	15	8地区 計	381
		大石地区	4	合計	1,056
		本郷地区	24		
		11地区 計	509		